乱世の現代を生きる私たちに 語りかけます 会 戦乱の世に、不条理な運命を辿った人々 平家物語」を題材にした能の名作が 場

日本全国 能楽キャラバンし 文5七斤

トキャラバン事業

文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核とし

令和3年 **※** 恋之音取

金

時

間

午後

6時

開演(午後5時20分開場

金

3,000円(全席自由) 1,500円(2階自由)

学 12,000円(全席自由)

五枚つづり券 12,000円( ※五枚つづり券は事務所窓口のみで販売、一公演に二枚 ※通信講座受講生、放送大学、老人大学は一般料金です

ご予約・お問合せ

京都観世会館

TEL.075-771-6114 京都市左京区岡崎円勝寺町44 http://kyoto-kanze.jp



同時公園 行営駐車 日 二条通 ♀ 仁王門通 **1** 2 HD

交通アクセス

- ●地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」にて地下鉄東西線に乗り換え、 「東山駅」下車、「一番出口より徒歩約5分 ●京都駅前パスのりばD1より市パス100系統、A1より5系統 「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車(乗車時間約30分)

●バスのりば、Eより市バス31・46・201・203系統 「東山仁王門」下車(乗車時間約15分)

京阪三条駅から

- ●市バス5系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車 ●地下鉄東西線に乗り換え、「東山駅」下車

船出之習

チケット情報

般

生 券

主催:公益社団法人能楽協会、公益社団法人京都観世会

## 8月 (6日(金

9月3日

金金

恋之音取

シテ(平清経の霊) ワキ(淡津三郎) ツレ(清経の妻) 石井 松井 杉浦 保彦 大和 市

> 実ね 勧かん

> > 曽 越 和賀

前古川橋

光正

長邦

後シテ(斎藤実盛の霊) ワキ(遊行上人) ワキツレ(従僧) ワキツレ(従僧) アイ(里人)

前山吉森茂野則宝河 川本阪田山口久生村 千 光哲一保三琢英欣晴 長也郎美郎弘志哉道 浦河浦林 田村田 深松味野野方 片山九郎右衛門 

終了予定午後7時45分頃

終了予定 午後7時半頃)

(終了予定午後8時前)

宮本 吉田 味方 河村

分林

古橋

正 玄 邦

河村

伸吾 和晃

狂言後見

片山九郎右衛門

信行 光史

橋本 大江

大江又三郎

れ形見を受け取ろうとしない妻の枕元られ、夫の入水が告げられる。悲観にく

ながら待つ妻の元に、形見の黒髪が届け

仏できぬ実盛の亡霊であった。跡を弔う来る老人、実は、二百余年を経てなお成来る老人、実は、二百余年を経てなお成が行上人の説法を毎日怠らず聴聞に

都で清経の帰りを一人淋しさに耐え

清経 恋之音取

もこの世も同じ」と断じつつ修羅道の苦 に清経が現れ、妻の嘆きを「奈落(地獄

であり、若い演者では演じきることが出気骨、心意気を描く世阿弥作の修羅能気骨、心意気を描く世阿弥作の修羅能亡霊が現れ、戦の様子を語る。老武者の上人のもとに白髪の老武者姿の実盛の

寄り添って舞う。静は、義経を偲び、吉束の静御前の霊が現れ、影のように女に 衣を身につけて舞いはじめると、同じ装 いる舞装束を取り出させる。女がこの つり、女の口を借りて宝蔵に納められて若菜摘みの女に静御前の霊がのりう

野山での逃避行の様子を語るのだった。

望にうち震えるなか、船出の刻が迫る 寛は「筆者の誤りではないか」と疑うが、 るが、赦免状に俊寛の名だけが無い。俊

人許されない身の上を知り、怒りと絶

情的に描いた名曲。世阿弥作 しみを見せる。愛するが故の悲劇を抒

## 調 10 月1日 金金

き

大鼓 谷青口木

正道壽喜

はし

11

月5日

金金

ワキ(勝手明神の神職) アイ(神職に仕える者) 後シテ(静御前の霊) ツレ(菜摘女) 茂山 浦田 石井 曽和 左鴻 有松 田茂井廣道 忠三郎 保彦 保浩 鼓堂 泰弘 遼

ツレ(平判官入道康頼) ツレ(丹波少将成経) シテ(俊寛僧都) ワキ(赦免使) アイ(船頭) 小鼓 笛 

河河 和 大重

後シテ(平知盛の霊) ツレ(大納言の局) ツレ(二位の尼) 浦部

子方(安徳天皇) アイ(浦の者) ワキ(旅僧) 浅大味井前河成杉泉岡味鷲 井江方上川村田 方尾 信太朗 達志 慎 也充遥

12 月17 日 金金

おはら 大原御幸 ごこう 片山九郎右衛門

世志子

終了予定 午後8時前)

河橋村本

田茂井廣道

橋吉浦本浪田

(終了予定 午後7時半前)

の懐妊によって大赦が行われることとなされた俊寛、成経、康頼。清盛の娘・中宮平家討滅の陰謀が露見し鬼界島に流

有様を見せる。 有様を見せる。 有様を見せる。 を中心とした平家一行を乗せた大船を中心とした平家一行を乗せた大船が眼前に浮かび上がり、修羅の戦いの数。平知盛かったが法華経読誦を船賃に向こうあったが法華経読誦を船賃に向こう を弔うべく早鞆の浦へ着く。無一文で平家ゆかりの僧が平家一門の菩提 船出之習

◆新型コロナウイルス感染予防対策として、当館ではアルコール消毒液の設置や、多くのお客様が触れる箇所は定期的に清掃・消毒を行っております。「検温」「手指消毒」「マスク着用」「芳名 票記入」のご協力をお願い申し上げます。体調が優れない場合は、ご来館前に医療機関にご相談願います。◆許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。◆上演中は、携帯電話など音や光を発する機器の電源はお切りください。◆今後の状況により、出演者その他が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。